

公共交通地区別座談会 北条地区

開催結果報告書

平成30年10月30日
館山市企画課

【もくじ】

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 0.公共交通地区別座談会の実施目的 | 3ページ |
| 1.公共交通地区別座談会（北条地区）実施概要 | 4ページ |
| 2.北条地区の特徴など | 5ページ |
| 2-1.北条地区の位置（GIS地図から） | 6ページ |
| 3.館山市の公共交通の現状に関する説明 | 7ページ |
| 4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明 | 7ページ |
| 5.グループワーク | 8ページ |
| 5-1.北条地区で出された意見 | 10ページ |

0.公共交通地区別座談会の実施目的

- ◆今年度及び2019年度（平成31年度）の2年をかけて策定する「館山市地域公共交通網形成計画」に、地域住民の生の声やニーズを収集し、分析を行う
- ◆分析結果については、計画内容になるべく具体的に反映させるとともに、当該地域における移動手段の必要性や確保策などについて検討するための資料とする
- ◆移動手段の必要性や確保策の検討結果を踏まえ、その導入や維持について検討していく

1.公共交通地区別座談会（北条地区）実施概要

【日時】

- ◆2018年（平成30年）10月25日（木曜日）午後2時から午後3時30分

【会場】

- ◆菜の花ホール 第1集会室

【参加者数】

- ◆北条地区住民4名（女性1名、男性3名）

【内容】

- ◆館山市の公共交通の現状について、資料を用い説明（市企画課職員）
- ◆路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け割引制度説明（館山日東バス・ジェイアールバス関東社員）
- ◆グループワーク
 - 参加者でグループをつくり、そこに市企画課職員を配置
 - 下記のテーマについて、参加者が意見を出し合い、それを付箋に記入し可視化・移動について困っていることや課題だと思いませんか？また、課題や困っていることを解決するため、住民の皆さんでできることはありますか？
 - 最後に、市職員がグループで出た意見等を発表

2.北条地区の特徴など

【地区の生い立ち、特徴】

- ◆ 駅、市役所、国や県の出先機関等が集まる、館山市の中心地区
- ◆ 江戸時代に藩の陣屋が置かれ、官公庁の集積、駅の開業とともに発展を遂げる

【商店分布・交通の状況】

- ◆ スーパーマーケットが地区内に3軒所在し、商店や医療機関も多数存在する
- ◆ 商業施設や医療機関の郊外移転により、空洞化が発生している
- ◆ JR内房線の要である館山駅を中心に、郊外へのバス路線が発着している
- ◆ 新興住宅が集まる高井・上野原集落等にはバス路線が走っていない

【人口の状況等】

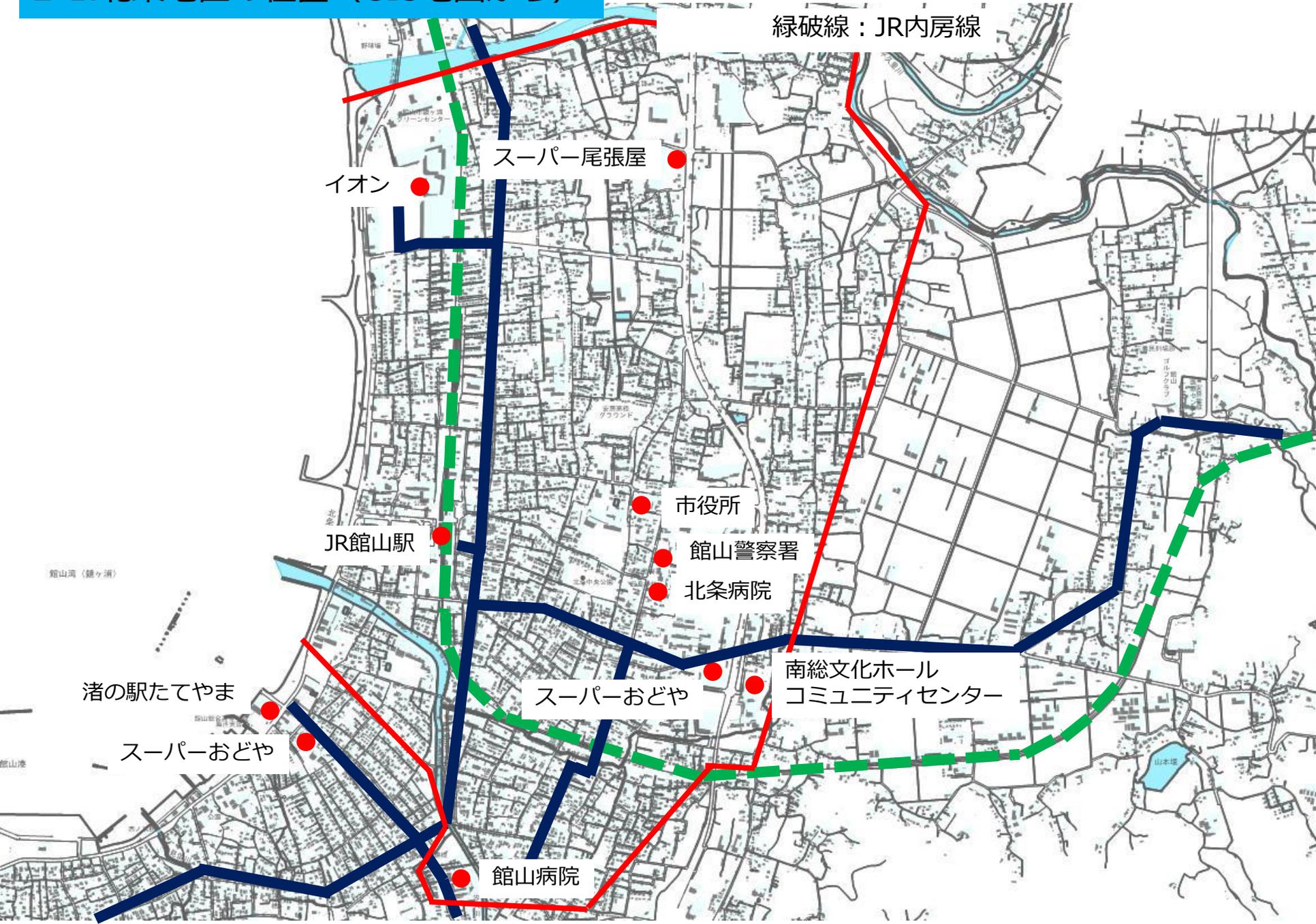
- ◆ 4月1日現在、地区人口12,904人（平成20年度比98.1%）
高齢化率33.8%（平成20年度高齢化率34.3%）
集落別高齢化率：高井集落18.1%～新宿集落40.4%
高井・上野原などの新興住宅地では高齢化率が低く、旧来からの市街地ほど
高齢化率が高くなる傾向がある

※住民基本台帳人口を基にした館山市統計データを参照

2-1.北条地区の位置 (GIS地図から)

青線：館山駅からのバス路線

緑破線：JR内房線



イオン

スーパー尾張屋

JR館山駅

市役所

館山警察署

北条病院

渚の駅たてやま

スーパーおどや

南総文化ホール
コミュニティセンター

スーパーおどや

館山病院

3.館山市の公共交通の現状に関する説明

【説明内容】

- ◆鉄道・路線バス・タクシーとも、利用者が減少傾向であること
- ◆加えて、バス・タクシー業界では担い手不足や高齢化が課題であること
- ◆事業者の独立採算では公共交通の維持が難しくなっていること
- ◆公共交通を維持していくためには、行政・事業者・住民皆が「自分ごと」として捉え、連携して取り組んでいく必要があること

4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明

【説明内容】

- ◆基本的な路線バスの乗り方について
- ◆65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度「ノーカーサポート優待証」の内容や発行方法などについて

5.グループワークの結果（1/2）

○グループをつくり、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆バスでスーパーに行けない、乗りたい時間にバスが無い

- ・バスでスーパーに買物に行けない
- ・乗りたい時間にバスがない、最終バスが早い

◆需要に合ったバス路線を設定してほしい

- ・買物に行けるバスを設定してほしい
- ・小さなバスにして自由乗降を導入してほしい
- ・需要にあわせ、路線の見直しを図ってほしい

◆タクシー（介護タクシー含む）を使わざるを得ない状況である

- ・運賃は高いが、移動のため利用せざるを得ない状況である
- ・迎車料金を廃止するなど、負担減を図れないか
- ・乗合タクシーを運行してはどうか

◆高齢者も外出すべき

◆体が不自由で外出できない

- ・わずかな距離でも車を使ってしまう
- ・買物、通院、ゴミ出し（の際の外出）が体が不自由な高齢者にとって大きな問題
- ・災害時、避難所への移動もままならない
- ・食の宅配サービス等もあるが（外出しなくても済むが）、飽きる

5.グループワークの結果（2/2）

○グループをつくり、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆館山病院のバスは便利

- ・館山病院の送迎バスは、曜日ごとにルートを変え運行するなど、便利である
- ・乗降の際にステップを置いてくれるなど、サービスも良い

◆福祉部門と連携すべき

- ・包括支援センターや社会福祉協議会の空いた車両や人員を活用し、外出困難者の輸送を実施する

◆地域内交通の担い手確保

- ・地域だけで交通システムを運営するのも難しいが、一方で行政丸抱えでも成り立たない
- ・運転を有償ボランティアにお願いするなど、工夫が必要
- ・リーダーが存在すれば、地域内（助け合い）交通を運営できるのではないか
- ・住民をどのように巻き込んでいくかを考えつつ、住民全体で何とかしていくという考えが必要

5-1.北条 出された意見

バスに関する要望

スーパーに行けない

北条市街地からおどやスーパーセンターに行くのが困る

おどやスーパーセンターは行く必要がある

スーパーへの路線がない
買物が不便

乗りたい時間にバスがない

最終バスが早い せめて19時くらいまであれば

バスのバリアフリー化

ノンステップバスの導入

バスのステップは高くて乗りづらい

高齢者にはバスの乗り降りが大変

需要に合ったバスを

地域の状況に合わせたバス路線が必要

需要に合ったバス路線にする

路線の見直しを図る

買物バス

西岬からの買物バスは良い
北条にもあれば

大きなバスはいらない

小さなバスで自由乗降にしてほしい

自由乗降

地区ごとに主要施設を巡るバスルートを設定

タクシーについて

タクシーは高い

お金をかけてタクシーに頼らないと移動できない

タクシーの迎車料金廃止できないか

タクシー料金が状況によってばらつきがある

乗合タクシーの運行（使いたい時間に相乗りで）

介護タクシーは通常タクシーより安い場合がある

介護タクシー（エンゼル）は使い勝手が良い サービスも良い

乗り降りはタクシーの方がしやすい

高齢者の外出

高齢者も外に出た方が良い

買物、通院、ゴミ出しが高齢者にとって大きな問題

体が不自由な人が多い 歩ければ良いのだが

災害時、避難所への移動もままならない

数百メートルでも車を使ってしまう

宅配サービスは飽きる

5-1.北条 出された意見

館山病院のバス

館山病院の送迎バスは便利

館山病院のバスは乗降の際にステップを置いてくれるなどサービスが良い

館山病院のバスは曜日ごとにルート変えて運行

福祉部門との連携

包括支援センターの人員、車両を活用する

包括とバス（公共交通）で連携する必要がある

社協の車両が空いている時間帯を活用し地域と協働して運行している

払い下げ車両を活用した交通システムの事例がある

担い手の確保

行政支援なく地域だけで交通を運営するのは難しい

地域の助け合い交通は行政のコーディネートが無いと難しい

行政だけでは成り立たない地元の担い手が必要

リタイアした人たちがボランティアで担っているところもある 行政側で進めてほしい

運転は有償ボランティアにお願いし、負荷を減らす

助け合い交通は、リーダーがいれば動くと思う

どのように住民を巻き込んでいくか

住民全体で何とかする考え方が必要

その他

時刻表が見えなくなっているバス停がある

今は近所・家族で送迎しているが、将来は不安

地域の状況に合わせ、試行錯誤していくしかない